

影絵劇

むかしむかし、まだ世界に魔法つかいがいたころのおはなし

魔法つかい の おとぎばなし

脚色・構成・演出:花輪 充 音楽:石川 洋光



60周年記念制作作品

劇団かかし座は、おかげさまで創立60周年を迎えました

世界に伝わる不思議で楽しい“魔法つかい”のお話を、
美しい影絵の劇でおおくりします。



第一話 「ウィリーと魔法使い」より

魔法つかいビーストと少年ウィリー

少年・ウィリーが森の中を歩いていると、おそろしい笑い声がきこえてきました。
そう!魔法つかい・ビーストが現れたのです。危ない、ウィリーがつかまってしまう!?
いいえ大丈夫!だって母さんが、魔法つかいを退治する方法をしてくれたもの。
ウィリーの勇気と母さんの知恵で悪い魔法つかいを追っばらう、ゆかいな物語。

【スタッフ】

脚色・構成・演出	花輪 充
音楽	石川洋光
舞台美術	齋藤浩樹
衣装	小林巨和
音響	都藤 守 (サウンド・メソッド)
照明	金子佳裕 (シアター・ブレン)

【影絵】

影絵美術監督	後藤 圭
影絵美術製作	劇団かかし座美術部 小田純治 (design Bee)

【制作】

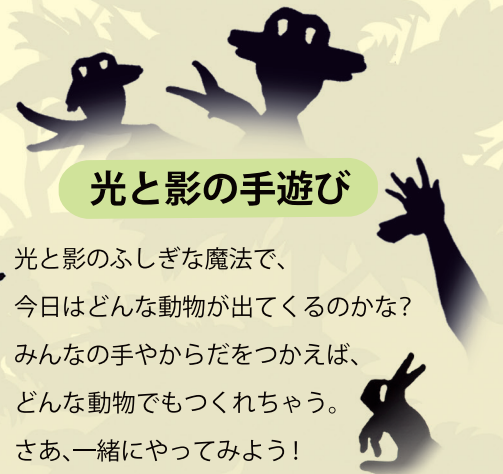
山下義文 市瀬愛香
劇団かかし座企画営業部



第二話 「こうのとりになった王様」より

魔法の呪文、ムタボール!

ある日、王様のところに不思議な老人がやってきました。老人がもってきた薬は、
どんな動物にも姿を変えることができる魔法の薬!ただし、動物の姿に変わっている
間に笑ってはいけません。魔法の呪文を忘れて元の姿に戻れなくなってしまうのです。
さっそく王様はコウノトリに変身!ところが、周りのコウノトリのおしゃべりがおかしくて、
つつい笑ってしまってさあ大変!王様はもとに戻れるのでしょうか!?



光と影の手遊び

光と影のふしぎな魔法で、
今日はどんな動物が出てくるのかな?
みんなの手やからだをつかえば、
どんな動物でもつくれちゃう。
さあ、一緒にやってみよう!



〒224-0026 横浜市都筑区南山田町 4820-1
TEL : 045-592-8111 FAX : 045-592-8458
E-mail info@kakashiza.co.jp
ホームページ <http://www.kakashiza.co.jp>

Shadow Play Theatre and Musical
劇団かかし座はNHK専属の影絵劇団として1952年創立。
現在は影絵の映像手法を積極的に採り入れた舞台作品をはじめ、
映像作品などの総合エンターテインメントを全国に発信しています。

作品仕様

対象	幼児～ファミリー
上演時間	1時間 (休憩なし)
会場条件	幼稚園ホール 体育館、集会室などのフリースペース
最適観客数	300人程度まで
演技スペース	天井高 2.5m以上 奥行き 5.5m以上 間口 7m以上 ※これより狭くなる場合でも条件により対応可能です。
使用電力	2 kw
仕込時間	2時間30分 (会場条件による)
撤収時間	1時間

花輪 充

玉川大学文学部教育学科卒業。15年間、玉川学園に勤務。幼児教育、表現教育を専門に
実践と研究を重ねる。また、遊育研究所〈素劇舎〉を拠点に、児童青少年劇団や
市民劇団等において舞台劇や影絵劇、人形劇、ミュージカル等の劇作、演出を行う。
現在、東京家政大学教授、日本保育学会会員、舞踊学会会員、日本児童文学学会会員、
神奈川県文化芸術振興審議会委員。

お問い合わせはこちら

フリーダイヤル **0120-088-111**